

令和 7 年 1 月 14 日

令和 7 年 1 月度情報発信 No.111

材料・環境研究所 代表 長野博夫

貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。新年を迎え、今年もよろしくお願ひ申し上げます。正月三日間は良い天気にも恵まれました。例年通り、3日に神戸の湊川神社に初詣に行きました。

今年世界では、かつてないたくさんの不安定問題を抱えております。中東のハマスとイスラエル、ウクライナとロシアとの戦闘があり、また、二期目を迎えるトランプ氏の大統領就任が就任後世界平和にどう影響するかなど心配事がたくさんあります。

一方、日本製鉄（日鉄）による US スチールの買収がバイデン大統領により拒否されたのは誠に残念なことです。新日鉄は、新日鐵（株）と住友金属工業（株）（住金）の合併による新日鐵住金（株）を経て、現在の会社名に改名しました。小生、学卒で住金に入社し、住金鋼管製造所、総合研究所に定年まで就業し、38年間お世話になりました。在職中、耐食合金として、化学工業および石油掘削用耐海水性二相ステンレス鋼、原子力発電用ステンレス鋼、建材用耐候性鋼などの開発に従事しました。

日鉄は、現在、世界の鉄鋼生産量で4位にランクされており、US スチールの買収が成立すれば鉄鋼生産量世界第3位、技術力が屈指の鉄鋼会社となり、将来の発展が見えてくるところです。この買収において、US スチールの経営陣、従業員の労働組合がこぞって賛成しているにもかかわらず、米国の鉄鋼労連、およびバイデン大統領の反対にあい、日鉄、US スチール連合の訴訟問題に発展しています。何とかいい方向に判決が出ることを期待したいものです。

1. 通常業務

日本腐食学会 腐食防食専門士会にオンライン出席。

通例通り、週1回英会話教室に出席

予定として、腐食防食学会中国・四国支部の2025年環境研究発表会および支部総会に出席予定（広島、2025.3.4）

以上